



商社の過去と現在

令和6年8月28日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

過去における商社機能は、今日 IT システムにおいてその移行を得るとき、人件費、経費をゼロにおいて、同等の商社機能を、IT システムにおいて構築できるのである。

これらはアリババコムがそれである。これらはグローバリゼーションと流通における新しい可能性を自己 IT システムの構築において実現できることを意味するものである。

これらは製品の電子カタログの作成と個別代理店等の契約の記載、ロイヤリティなどにおける契約内容の記載、輸送や通関のデジタル化など、これら WEB サイトもしくは独自 IT システムの構築において、既存商社の事業内容を全てデジタルシステムへ移管できるのである。

これらは事業内容の自動化とデジタル化にける新たな可能性であり、これらはまたその可能性を微細な現実にもまで拡大し、新たな事業構築を提案できるのである。

これらは時代変化における新たな現実であり、その可能性は新たな分野に拡大することができるのである。

これらへの理解は莫大な陣経費や経費をその全てを削減し、IT システムにおいて代弁することなのである。

これらは既存販売網や、流通ラインへ、これら独自システムへの移行は、時代性と現実における趨勢なのであり、それら可能性への転換は全く異なる現実への参加を自己に与えることなのである。

これらは商社が新しい現実と可能性への転換を得ることができると考える。これらは明らかに時代の趨勢であり、不可避の現実であることも正しいのである。

これらは完全な事業転換を明確に行うものであり、新しいコスト基準と利益環境は、完全な事業の転換を提案するものである。